

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-111503

(43)Date of publication of application : 12.04.2002

(51)Int.Cl. H03M 7/30  
G10L 11/00  
G10L 19/00

(21)Application number : 2000-295118

(71)Applicant : VICTOR CO OF JAPAN LTD

(22)Date of filing : 27.09.2000

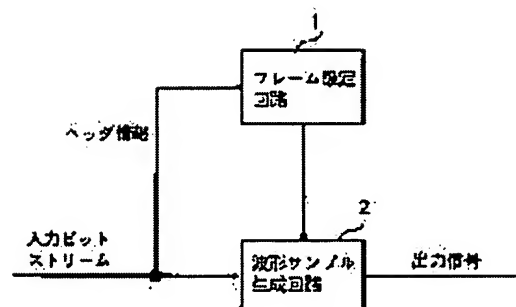
(72)Inventor : KURAN TAKEHIKO

## (54) DECODING DEVICE

## (57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To define a frame of certain length, where a minimum number of frequency extraction components are obtained as an optimal frame, when a signal frequency component is extracted through a general harmonic analysis, and to decode a bit stream containing a frequency extraction component in an optimal frame.

SOLUTION: A frame-setting circuit 1 sets the frame length of a waveform sample, which is generated by a waveform sample generating circuit 2 at the waveform sample generating circuit 2, on the basis header information. The waveform sample generating circuit 2 reads in the header information of the inputted bit stream and decodes signal frequency component in the frame of the inputted bit stream, through general harmonic analysis on the basis of header information. Successively, it is determined as to whether the decoded frequency component is the last frequency component, a decoding operation is continued until the decoding is the last frequency component, and a waveform sample which is the decoded result is outputted.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

BEST AVAILABLE COPY

This Page Blank (uspto)

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

**This Page Blank (uspto)**

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-111503

(P2002-111503A)

(43) 公開日 平成14年4月12日(2002.4.12)

(51)Int.Cl. 7 識別記号 FI テーマコード (参考)  
H03M 7/30 H03M 7/30 A 5D045  
G10L 11/00 G10L 9/16 5J064  
19/00 9/18 M

審査請求 未請求 請求項の数1 OL (全6頁)

(21) 出願番号 特願2000-295118(P 2000-295118)

(22) 出願日 平成12年9月27日(2000.9.27)

(71) 出願人 000004329

日本ビクター株式会社

神奈川県横浜市神奈川区守屋町3丁目12番地

(72) 発明者 九箇 武彦

神奈川県横浜市神奈川区守屋町3丁目12番地 日本ビクター株式会社内

(74) 代理人 100085235

弁理士 松浦 兼行

Fターム (参考) 5D045 DA20

5J064 AA02 BA16 BB05 BB09 BB12

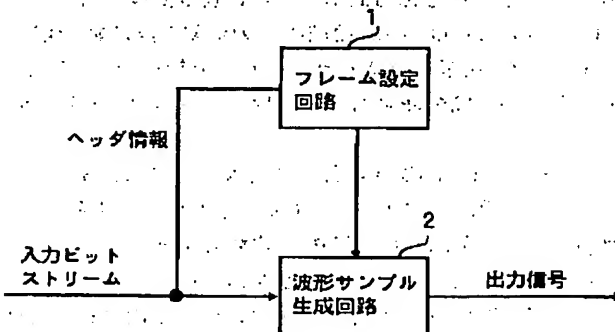
BC02 BC14 BC25 BD01

(54) 【発明の名称】復号化装置

(57) 【要約】

【課題】 一般調和解析によって信号の周波数成分抽出を行う際、最小の周波数抽出成分の本数が得られるフレーム長のものを最適フレームとして決定し、最適フレームにおける周波数抽出成分を含むビットストリームを復号化する。

【解決手段】 フレーム設定回路1は、ヘッダ情報に基づいて、波形サンプル生成回路2において生成される波形サンプルのフレーム長を波形サンプル生成回路2に設定する。波形サンプル生成回路2は入力されたビットストリームのヘッダ情報を読み込み、ヘッダ情報に基づいて入力ビットストリームのフレーム内の信号の周波数成分を一般調和解析により復号する。続いて、復号した周波数成分が最後の周波数成分かどうか判定し、最後の周波数成分までを復号して、復号結果である波形サンプルを出力する。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 最も長いフレームとその整数分の1の長さのフレームとの複数種類のフレームを順次選択し、選択した各フレームにおいて、入力デジタルオーディオ信号の周波数成分を一般調和解析により抽出し、前記各フレームの周波数抽出成分の本数のうち、同じサンプル区間で最小の周波数抽出成分の本数が得られるフレーム長のもを最適フレームとして決定し、前記最適フレームにおける周波数抽出成分に、少なくともフレーム長を示すヘッダ情報を付加してビットストリームとして生成する符号化装置から出力されたビットストリームを、任意の伝送路を経て入力信号として受け、オーディオ信号を復号する復号化装置であって、

前記ビットストリームのヘッダ情報に基づいて、最も長いフレーム長の周期で参照更新してフレーム長を設定するフレーム長設定回路と、

前記フレーム長設定回路の情報を参照しながら、前記ビットストリームの当該フレームの信号の周波数成分を一般調和解析により復号して波形サンプルを生成し、復号化信号として出力する波形サンプル生成回路とを有することを特徴とする復号化装置。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は復号化装置に係り、特にフレーム単位で一般調和解析により周波数成分を抽出して符号化されたビットストリームからオーディオ信号を復号化する復号化装置に関する。

## 【0002】

【従来の技術】従来のオーディオ信号における復号化方式に対応する符号化方式は、時間周波数変換方式を基本としている。これは、時間領域の入力信号を周波数領域に変換してから符号化を行う方式で、周波数領域での信号の偏りや人間の聴覚心理を利用した、符号化方式である。

【0003】しかし、この時間周波数変換方式による符号化方式で用いる高速フーリエ変換(FFT)や変形離散コサイン変換(MDCT)等の周波数分析方法は、周期的で調和的な信号を分析する理論であり、信号を観測した観測区間の外では観測区間内の信号が周期的に繰り返すことを仮定している。

【0004】しかしながら、上記の周波数分析方法では、観測区間によって実際とは異なった多数の周波数成分が抽出されることから、周波数領域信号には既に誤差が含まれ、符号化効率が低下し、また、周波数分解能が観測区間の長さとは反比例することから、過渡的な信号の分析を行う場合でも、観測区間長を余り短くすることができず、周波数分解能が不足し符号化効率が低下し、更に、観測区間外の波形予測が困難であることから、予測残差の符号化による符号化効率の向上が困難である等の欠点がある。

【0005】一方、調和的でない信号に拡張したフーリ

エ解析の理論も知られている。この理論は一般調和解析 (Generalized Harmonic Analysis: GHA) と呼ばれ、観測区間内で原波形から残差エネルギーが最小となる最も優勢な正弦波を抽出し、残差成分にも同様の処理を繰り返すという解析方法である。このため、定常的でない僅かな周波数変動に対しても正確な周波数分析の抽出が可能であり、観測区間長と周波数の分解能は互いに独立して自由な設定が可能で、観測区間を超えて信号の予測が可能であるなどの特徴がある。

## 【0006】

【発明が解決しようとする課題】そこで、上記のGHAはFFTやMDCTなどの調和解析よりも精度の高い周波数分析が可能であるため、従来の符号化装置において、周波数分析手段として用いられているFFTなどを用いる場合に比べて、抽出した周波数成分の精度が高く、抽出した周波数成分の精度を符号化するのに必要な符号量が入力信号によってはFFTなどを用いる場合に比べて増大するという問題がある。また、GHAを使用して符号化効率を大幅に向上できるように、オーディオ信号を符号化しても復号化を確実にに行えるようにする必要がある。

【0007】本発明は上記の点に鑑みなされたもので、GHAを使用してオーディオ信号を符号化して得られたビットストリームを確実に復号化し得る復号化装置を提供することを目的とする。

## 【0008】

【課題を解決するための手段】本発明は上記の目的を達成するため、最も長いフレームとその整数分の1の長さのフレームとの複数種類のフレームを順次選択し、選択した各フレームにおいて、入力デジタルオーディオ信号の周波数成分を一般調和解析により抽出し、各フレームの周波数抽出成分の本数のうち、同じサンプル区間で最小の周波数抽出成分の本数が得られるフレーム長のもを最適フレームとして決定し、最適フレームにおける周波数抽出成分に、少なくともフレーム長を示すヘッダ情報を付加してビットストリームとして生成する符号化装置から出力されたビットストリームを、任意の伝送路を経て入力信号として受け、オーディオ信号を復号する復号化装置であって、ビットストリームのヘッダ情報に基づいて、最も長いフレーム長の周期で参照更新してフレーム長を設定するフレーム長設定回路と、フレーム長設定回路の情報を参照しながら、ビットストリームの当該フレームの信号の周波数成分を一般調和解析により復号して波形サンプルを生成し、復号化信号として出力する波形サンプル生成回路とを有する構成としたものである。

【0009】本発明では、入力デジタルオーディオ信号の周波数成分を一般調和解析により抽出し、各フレームの周波数抽出成分の本数のうち、同じサンプル区間で

最小の周波数抽出成分の本数が得られるフレーム長のものを最適フレームとして決定し、最適フレームにおける周波数抽出成分にヘッダ情報を付加してビットストリームとして生成する符号化装置から出力されたそのビットストリームを、最も長いフレーム長の信号の周波数成分から波形サンプルを生成する。

【0010】

【発明の実施の形態】次に、本発明の一実施の形態について図面と共に説明する。図1は本発明になる復号化装置の一実施の形態のブロック図を示す。この実施の形態の復号化装置は、本発明者が特願平11-75171号にて提案した符号化装置により符号化して得られたビットストリームを復号するものである。本発明の実施の形態について説明する前に、まず、上記の符号化装置について説明する。

【0011】図5は本発明者が特願平11-75171

号にて提案した符号化装置の一例のブロック図を示す。同図において、符号化装置は、一般調和解析回路10と、すべてのフレームを選択したかどうかを判定する判定回路13と、最適フレームを決定し、周波数抽出成分を出力する決定回路14と、ビットストリームを生成するビットストリーム生成回路15と、最も長いフレームとその整数分の1の長さのフレームとの複数種類のフレームを用意して、フレームを順次選択するフレーム選択回路16とより構成されている。一般調和解析回路10は、入力デジタルオーディオ信号を複数のサンプルからなるフレームに分割するフレーム化回路11と、周波数成分を一般調和解析により抽出する周波数成分抽出回路12とより構成されている。

【0012】次に、この符号化装置の動作について図6のフローチャートを併せ参照して説明する。例えば、サ

$$x(t) = \sum_{k=1}^N \{ S_k(f_k) \sin(2\pi f_k t) + C_k(f_k) \cos(2\pi f_k t) \} \quad (1)$$

ここで、周波数成分抽出における分析終了の条件は、図6のステップ103に示したように、残差が十分に小さいことであり、周波数抽出成分の本数ではない。「残差が十分に小さいこと」とは、1サンプル当たりの振幅の二乗誤差値が、十分小さな値で、フレーム長に関係なく一定の値 $\delta t (> 0)$ より小であるということである。つまり、フレーム長と周波数抽出成分の本数との間には相関関係はない。しかし、符号化効率向上のためには、周波数抽出成分の本数は少ないほどよい。

【0016】そこで、フレーム化回路11における分割単位であるフレーム長を予め複数種類用意しておき、判定回路13は複数種類のフレーム長を順次指定する信号をフレーム選択回路16を通してフレーム化回路11へ出力する。そして、判定回路13は、周波数成分抽出回路12から逐次取り出された、同じサンプル数の区間における各フレーム長での周波数抽出成分の本数を算出す

ンプリング周波数48kHzのデジタルオーディオ信号は、図1のフレーム化回路11に供給され、ここで複数のサンプルからなる観測区間(フレーム)に分割される。このとき、フレームは必ずしも重複させる必要はない。このときフレームを順次選択するフレーム選択回路16において最も長いフレームが設定される。フレーム内のデジタルオーディオ信号(複数のサンプル)は、周波数成分抽出回路12に供給され、ここでフレーム単位でフレーム内の信号の周波数成分が、図6に示すフローチャートの手順に従って一般調和解析(GHA)により抽出される。

【0013】すなわち、まず、1フレームのデジタルオーディオ信号が入力されると(図6のステップ101)、その1フレームの信号から、残差信号が最も小さくなるような周波数成分を1本だけ抽出する(図6のステップ102)。続いて、抽出した周波数成分を除いた原信号、すなわち残差は十分に小さいかどうか判定し(図6のステップ103)、残差が所定のしきい値より大きいときは上記のステップ102の処理を残差に対して再び行い、残差が十分に小さくなった時点で分析を終了する。そして、得られた分析結果が図5の判定回路13へ出力される(図6のステップ104)。

【0014】上記の抽出した正弦波(周波数成分)により当該フレーム内の信号 $x(t)$ は次式のように $f_1, \dots, f_N$ の、計N本の正弦波(周波数抽出成分)の重ね合わせで表される。これらの正弦波は調和的(基本波の整数倍の周波数)とは限らない。なお、(1)式において、 $x(t)$ 、 $S_k$ 、 $C_k$ は振幅、 $t$ は時間、 $f$ は任意の周波数、 $n$ は整数である。

【0015】  
【数1】

ると同時に、すべてのフレーム長を選択したかを判定する。

【0017】決定回路14は、判定回路13より取り出された、フレーム長の周波数抽出成分と、各フレーム長での周波数抽出成分の本数とを受け、各フレーム長に対応する周波数抽出成分の本数を比較して、最小の周波数抽出成分の本数が得られるフレーム長を最適フレーム長として決定して、その最適フレーム長の周波数抽出成分をビットストリーム生成回路15へ出力する。

【0018】例えば、1024サンプルの区間を分析した結果、1024サンプルを一つのフレーム長(第1のフレーム長)としたときの周波数抽出成分の本数が100本であり、1024サンプルを2分割して512サンプルのフレーム長(第2のフレーム長)としたときの1024サンプル分の周波数抽出成分の本数が85(=40+45)本であり、1024サンプルを4分割して2

56サンプルのフレーム長(第3のフレーム長)としたときの1024サンプル分の周波数抽出成分の本数が110(=35+25+30+20)本であった場合は、第2のフレーム長を最適フレーム長として決定する。

【0019】実際には、最も長いフレーム長を1024~4096サンプル程度に決めておき、その1/2、1/4、1/8、1/16程度の複数のフレーム長によってそれぞれ仮分析して、最適なフレーム長を決定する。このようにして、デジタルオーディオ信号の性質に応じた最適なフレーム長を決定する適応フレーム長の処理が行われ、単位時間当たりできるだけ少ない本数の周波数抽出成分が決定回路14より取り出される。なお、上記の適応フレーム長の処理は、最も長いフレーム長の整数倍の区間長毎に行う。

【0020】上記の周波数抽出成分は、図1のビットストリーム生成回路15に供給され、ここで設定パワーレベルより小さいパワーレベルの抽出成分は出力されないことで、情報量が削減されると共に、更に設定パワーレベル以上のパワーレベルの周波数抽出成分に対して、ハフマン符号化などの可逆圧縮符号化による情報量の削減がなされ、更に周波数抽出成分の本数とフレーム長情報をそれぞれ記録したヘッダ情報が付加されてビットストリームとして任意の伝送路へ送出される。なお、(1)式で表される信号 $x(t)$ のパワーレベル $P(f)$ は、 $S^2 + C^2$ で表される。

【0021】これにより、例えば、上記の第1のフレーム長から第3のフレーム長の3つのフレーム長を例にとると、最も長い第1のフレーム長(1024サンプル)の整数倍の予め設定した区間長として、1024サンプルの区間毎に上記の適応フレーム長の処理を行った場合は、3つのフレーム長のどのフレーム長で符号化したかを示すフレーム長情報をヘッダ内に設けて伝送することにより、復号化装置(デコーダ)側では、フレーム長情報から第2のフレーム長情報を得たときはそのフレーム長が2回続くことが、また第3のフレーム長情報を得たときはそのフレーム長が4回続くことがわかる。

【0022】次に、図1に示した本発明になる復号化装置の一実施の形態の構成及び動作について説明する。図1に示すように、本実施の形態の復号化装置は、図5のビットストリーム生成回路15から出力されたビットストリームが任意の伝送路を経て入力されるフレーム設定回路1と、フレーム設定回路1の出力信号が入力される波形サンプル生成回路2とから構成されている。

【0023】フレーム設定回路1は、図5に示した符号化装置から任意の伝送路を経て入力されたビットストリームのうち、ヘッダ情報に基づいて、波形サンプル生成回路2において生成される波形サンプルのフレーム長を波形サンプル生成回路2に設定する。ここで、フレーム長は最も長いフレームかその整数分の1の長さのフレームであり、最も長いフレーム以外のフレーム長であ

ば、同じ長さのフレームが少なくとも2つ以上連続して設定され、かつ、その連続数もフレーム長によって一意に決定するため、必ずしも1フレーム毎にヘッダ情報を参照する必要はない。

【0024】波形サンプル生成回路2は図5に示した符号化装置から任意の伝送路を経て入力されたビットストリームの波形サンプルを、図2及び図3に示すフローチャートに従って生成し、符号化の時と同じ順序で出力信号とする。すなわち、まず入力ビットストリームのヘッダ情報を読み込み(図2のステップ201)、ヘッダ情報に基づいて入力ビットストリームのフレーム内の信号の周波数成分を一般調和解析により復号する(図2のステップ202)。続いて、復号した周波数成分が最後の周波数成分かどうか判定し(図2のステップ203)、最後の周波数成分までを復号して、復号結果である波形サンプルを出力する(図2のステップ204)。なお、ヘッダ情報により周波数成分がフレーム内にいくつあるか分かるようになっている。

【0025】図3は図2のステップ202の詳細フローチャートを示す。ステップ202の周波数成分復号処理について、図3のフローチャートと共に更に詳細に説明するに、入力されたビットストリームから、ある周波数成分を1つ選択し(図3のステップ301)、その周波数成分の正弦波(sin波)の波形を生成し(図3のステップ302)、また余弦波(cos波)の波形を生成する(図3のステップ303)。

【0026】そして、フレーム内のそれらの波形を加算して周波数成分を復号する(図3のステップ304)。

このようにして、波形サンプル生成回路2は、フレーム内の信号の周波数成分を復号して信号の波形サンプルを生成して復号化信号として出力する。図4は波形サンプル生成回路2から出力される復号化信号の波形の一例を示す。区間A及びBはそれぞれフレームを示す。

【0027】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、一般調和解析によって信号の周波数成分抽出を行う際、同じサンプル区間で最小の周波数抽出成分の本数が得られるフレーム長を最適フレームとして決定し、その最適フレームにおける周波数抽出成分に対して符号化を行うことにより、信号の定常性によらない効率的な周波数成分抽出を行うことができ、ビットストリームを構成する周波数成分が削減されることによって、符号化効率が大幅に向上する効果がある符号化装置によって生成したビットストリームを入力ビットストリームとし、そのビットストリームの最も長いフレーム長における信号の周波数成分から波形サンプルを生成することにより、上記のビットストリームからオーディオ信号を確実に復号することができる。

【図面の簡単な説明】

50 【図1】本発明になる復号化装置の一実施の形態のプロ



ック図である。

【図2】図1中の波形サンプル生成回路の動作説明用フローチャートである。

【図3】図2中の要部の詳細説明用フローチャートである。

【図4】復号化信号の波形の一例を示す図である。

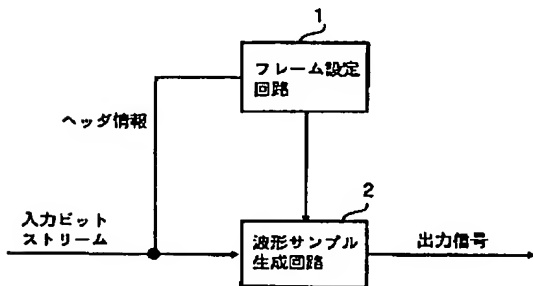
【図5】本発明装置で復号するビットストリームを出力する符号化装置の一例のブロック図である。

【図6】図5中の要部の動作説明用フローチャートである。

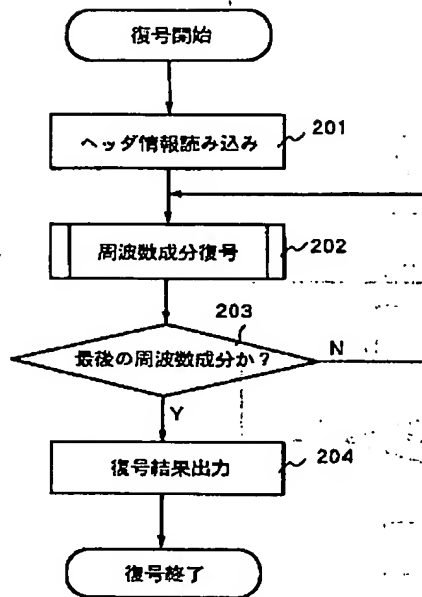
# 【符号の説明】

- 1 フレーム設定回路
- 2 波形サンプル生成回路
- 10 一般調和解析回路
- 11 フレーム化回路
- 12 周波数成分抽出回路
- 13 判定回路
- 14 決定回路
- 15 ビットストリーム生成回路
- 10 16 フレーム選択回路

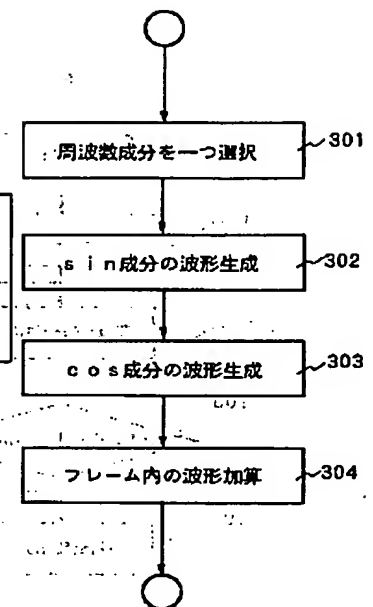
【図1】



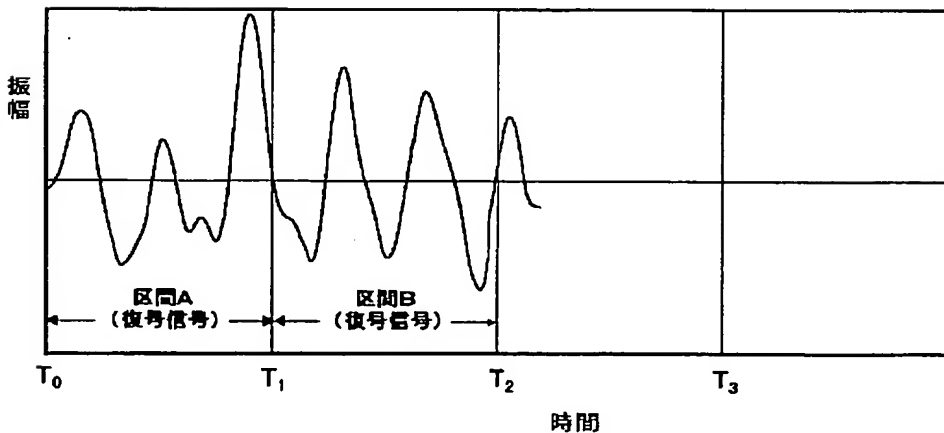
【図2】



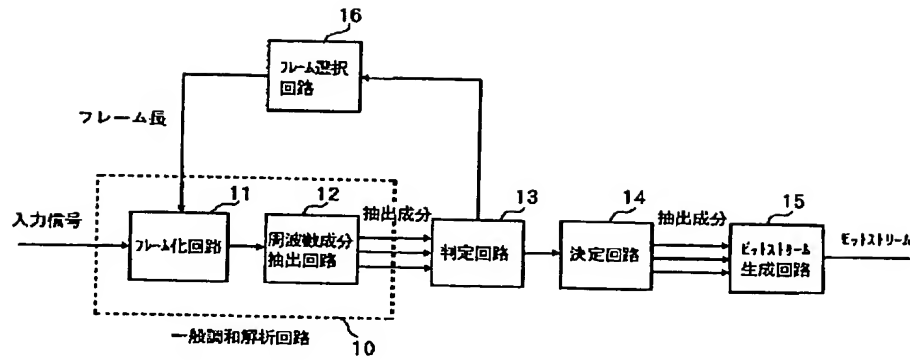
【図3】



【図4】



【図5】



【図6】

